



# Zikomo kwambiri!



ジ コ モ

ク ワ ン ビ リ

## 2回目の Teacher's Day! 記念にブレイズヘアに挑戦!

Muli Bwanji(ムリブワンジ)? 10月5日は世界教師の日、ということで今年も配属先の先生方と一緒に祝いをしました!昨年同様、朝から集合しマーチングとセレモニー、その後にパーティーという流れです。せっかくのパーティーということで今年はブレイズヘアに挑戦しました!ザンビアのヘアサロンと言えば、髪を切るのではなく、髪を編む!地毛につけ毛を絡めて編み込みます。

今回は同僚に編んでもらいました!かかった時間はなんとトータル5時間!ずっと座っているだけでも疲れるのに、編み続けてくれた同僚には感謝しきれません!子どもたち、同僚、友達から好評でとても嬉しかったです!一番の親友からは「ザンビア人でも日本人でもなく、アメリカ人みたい」と素直な感想をもらいました(笑) 現地の方は一回編み込むと2か月ほどキープするそうです!その間髪は洗わずクリームを塗ります。そのため、経験がある隊員からは痛いし、痒い!と忠告を受けていましたが、そのおかげか思ったほど痛くないし、さほど辛くありませんでした!しかし見た目のインパクトが大きかったことと目的が Teacher's Day だったことで飽きてしまい、4日間でギブアップ。帰国前にもう一度挑戦したいなと思います!



## 異文化理解は国の違いだけじゃない! 一映画を通してろう文化を学ぶ—

先日聾者の方も楽しめる映画鑑賞会&交流会を開催しました!聴覚障害を持つ子どもをサポートしているザンビア人の友人が「子どもたちに楽しんでもらいたい」と相談してくれたことから始まったこの企画。紆余曲折ありましたが、無事第一回目を開くことができました!

参加者の半分が聴覚障害を持つザンビア人。現地の方に加えて日本人の方にも参加していただきました。映画観賞の前には簡単な手話講座を。挨拶と自己紹介を教えて、参加者全員に手話で自己紹介をしていただきました。今回観賞した映画は CODA。映画に出てくるアメリカ手話とザンビア手話の共通点や違いを発見したり、映画を通してろう文化を学んだり今までと違った角度からも映画を楽しむことができました。上映中は、所々手話での同時通訳をがんばりました!鑑賞後は写真を撮ったり歓談したり、温かい会になって良かったです。たくさんの方々に協力していただき実現したこの企画。人との繋がりに感謝します。



## 乗合ハイエースがバス!?ザンビアの交通事情

今更ながら、ザンビアでの交通事情をご紹介します。ザンビアにはもちろん時間通りに来る電車はありません。主な交通手段は徒歩、バス、タクシーです。ザンビアに来てから目的地まで歩いて50分は徒歩圏内、30分ほどで着く場合は「近い」と思うようになりました。道路は日本と同じ、左側通行です。



バスは日本のバスとは全く異なり、日本の中古のハイエースを改装した車に乗合うミニバスと呼ばれるものです。運転手とコンダクターと呼ばれるお兄ちゃんがいて、コンダクターが車内でお客さんからお金を集めたり、誰がどこで降りるかを把握し運転手に伝えたりしています。伝え方も独特で、天井を指ではじき音を立て運転手に伝えます。車内でコンダクターが次に



停まる駅を言うので、「Nisala”(ニサラ:ニャンジャ語で降りる)と言います。降りる駅で停まりますボタンを押す日本と同じですね。ちなみに3人掛けのシートに4人座りが基本なので、日本の満員電車のように窮屈です。K10(70円ほど)で乗ることができます。ミニバスに乗る外国人は珍しいようで、コンダクターやお客さんからよく話しかけられます。現地語で話すと喜んでくれますし、ぼったくられることはありません!そのためバス用語の現地語を覚えて乗ることをお勧めします!また、コンダクターは走行中に客引きのため窓から顔を出して終点の駅名を連呼します。タウン行のバスであれば「タウン、タウン」と言うのですが、ザンビア人は語尾に i の音をつける癖があります。そのため、「タウニ、タウニ」と聞こえてとても可愛いです(笑)



長距離の移動には大型バスもあります。例えばルサカからリビングストンまでは約8時間、ガソリンスタンドでのトイレ休憩が一回あります。車内での快適さはバス会社によって大きく異なります。シートが壊れていて背もたれが垂直なままだったりすることもあれば、エアコンやUSBポートが

ついていることもあります。K350(2,500円ほど)で乗ることができます。

**YANGO**

タクシーは、YangoというUberのような配車アプリが主流です。時間帯や距離によって料金が異なり、K20~300(150~2,000円ほど)で乗ることができます。システムや料金は大体同じですが、GOやMY CABという他の配車アプリもあります。

ザンビアで走っている車のほとんどは日本の中古車です。そのため、カーナビ上では日本海を走っていたり、日本の曲が流れていたりすることもあります。そしてザンビア人が聞いたことのある日本語、第一位はおそらく「ETC カードが挿入されていません」です。



## This is Zambia. 3週間ぶり4度目の洪水です。

第7号で紹介したザンビア全土での計画停電、今も続いているどころか一日の停電時間は日に日に長くなり、現在では毎日20時間以上の停電です。日によっては30時間以上電気が来ないこともあります。電気ので水を汲み上げているので長時間の停電が続くと水すらも出ない。そして断水時に蛇口を閉め忘れていたみたいで、日中出かけている間に電気が復活。と同時に水も復活です。というわけで帰宅したら家が大洪水していました(笑)ちなみにその3週間後、長時間の停電の末電気が復活し水圧がおかしくなったようで水道が破裂。帰宅したらまたまた大洪水(笑)これもザンビア生活ですね。断水が多い家に住む隊員にこの話をすると「(水が出るなんて)なんて贅沢な」と。ザンビア隊員のみみんなはとても愉快です(笑)でも水が出る、電気があるって有難い!